

「健街道」矢倉沢往還道 第2回 ご案内 渋沢駅～開成駅

歩行距離 約10Km

(実施年月日) 2019年 5月25日(土曜日)	(参加人員予定数) 参加人員 30名 スタッフ 7名	(参加費) 1名 / 1,000円 資料代・保険代・他	(運営スタッフ) 富岡秀二・目島公男・二瓶弘・二瓶雅代 小杉正雄・小杉眞希子・川合脩司
集合場所 小田急線・渋沢駅改札口にお越しください。			
スタート時間 AM10時00分 (受付は9時30分)			
(行程内容)			
9:30～10:00	渋沢駅改札口を出たところで受付開始		トイレ
10:00～10:20	曲松いちよう公園でオリエンテーションとウォーミングアップ		
10:40～11:05	渋沢神社から渋沢峠		
11:10～11:20	畑の展望台で休憩 (簡易トイレ)		
11:30～12:00	弘法の硯水・三嶋神社		
12:25～13:10	富士見塚・見晴らし休憩所で昼食		トイレ
13:13～13:40	神山神社		
13:45～14:25	江戸・明治の道と合流し三角土手で休憩		トイレ
14:40～15:00	酒匂川に架かる足柄大橋を渡り開成駅へ		
15:15	開成駅前公園でクールダウン後解散		トイレ
<p>渋沢駅から松田町を抜ける矢倉沢往還は2ルート現存する。「平安・鎌倉時代の道」と「江戸・明治時代の道」である。</p> <p>前者は渋沢駅からまっすぐのびる「堂坂」を進み山越えの渋沢峠を経て大井町から松田町に抜ける。後者は渋沢駅から右に曲がり小田急線沿いを進み「旧千村宿」を抜け四十八瀬川に向かってうねうねと曲がった道を下り、国道246号に出て川音川沿いを通り、松田町へ抜ける。</p> <p>どちらも魅力ある古道だが、「温故知新」テーマにした今回は前者の「平安・鎌倉の道」を選定した。</p> <p>渋沢神社 : 建保六年(1218)鶴岡八幡宮の若宮を勧請して開基する。往時は若宮八幡宮と称し、村の総鎮守であった。明治六年に渋沢神社と改称した。</p> <p>弘法のすずり水 : 今は水が枯れてしまいましたが、村里を訪れた弘法さまが富士の姿を眺めながら物思いにふけり、この水を使ってお経を書いたという伝説がある。</p> <p>篠窪の椎の木 : 三嶋神社境内にある樹齢500年とも800年とも言われる、幹回り5,9mの椎の木(スダジイ)で、神奈川の名木100選でもある。</p> <p>富士見塚 : 源頼朝が巻狩りの往還に馬を止め富士山を眺めたといわれる、海拔250mの丘です。富士浅間神社の分神として「富士山大神」の碑がある。</p> <p>三角土手 : 川音川と酒匂川の合流地点に在る、洪水で今までであった土手が流され後の享保十九年(1700)に強固な土手が築かれた。三角土手と呼ばれた土手は明治40年の洪水で流され原形をとどめていないものの、それ以来決壊はしていない。</p>			
<p>(中止の場合)</p> <p>前日 の夕刻 に参加者に電話連絡する</p> <p>中止の振替日は6月22日(土)です</p>			
<p>(服装・履物・持参品)</p> <p>ハイキングの服装(雨天時の傘・レインコート)・歩きやすい靴</p> <p>健康保険証 ・名札(緊急連絡先付)・お弁当・飲み物(お茶やコーヒー等のカフェイン含有飲料は避ける事)</p> <p>※ カフェインは利尿作用が有りトイレが近くなります(矢倉沢往還はトイレ箇所が少ないのでご協力をお願いします)</p>			
<p>(行程上のご願いと注意点)</p> <p>★ 渋沢駅集合場所で参加費のお支払いをお願い致します。</p> <p>★ 飲料水は多めに持って、のどが渇く前に定期的にとって下さい。</p> <p>★ 道幅が狭い処では、車両の通行で危険です、スタッフの指示に必ず従って下さい。</p> <p>又、トイレ箇所が少ないため指定された処で必ずお済ませ下さい。</p> <p>★ 今行程の昼食場所は、富士見塚・見晴らし休憩所でお弁当を食べて頂きます、ベンチに限りがあるためシート等の敷物をご用意ください。</p>			
<p>お問い合わせ連絡先 富岡 秀二</p> <p>e-mail : hideteru71166@yahoo.co.jp</p> <p>TEL/FAX : 045-904-0230</p> <p>携 帯 : 090-9300-3562</p>			